

健康にアイデアを

meiji

2021年度 第3四半期決算説明資料

対象期間：2021.4.1-12.31

2022年2月9日

2021年度 第3四半期連結決算のハイライト

(億円)	20年度 1-3Q実績	21年度 1-3Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	21年度 通期計画 (2/9修正)
売上高	9,007	7,699	△14.5% △1,307	76.3%	10,090
(参考：売上高)	7,593※	7,699	+1.4% +105	—	—
営業利益	832	790	△5.1% △42	87.8%	900
営業利益率	9.2%	10.3%	+1.0pt	—	8.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	494	561	+13.7% +67	66.9%	840
E P S	340.54円	387.81円	47.27円	—	579.81円

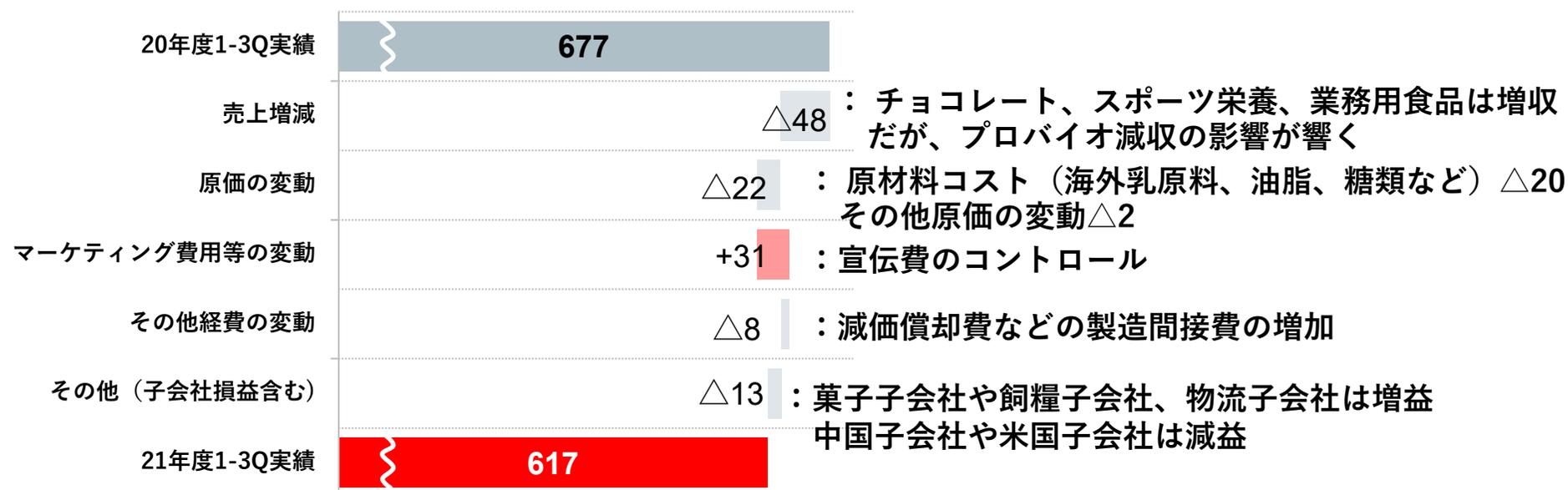
● 3Q累計実績：減収減益

- 収益認識基準適用の影響を除いたベースの売上高は、食品は前年並み、医薬品は増収
- 営業利益は食品は減益、医薬品は大幅増益
- 四半期純利益は大幅増益。投資有価証券や関係会社株式の売却による特別利益の増加や税金費用の減少が主な要因

食品：2021年度 第3四半期 決算概要

(億円)	20年度 1-3Q実績	21年度 1-3Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	21年度 通期計画 (2/9修正)
売上高	7,584	6,263	△17.4% △1,320	76.0%	8,236
(参考：売上高)	6,264※	6,263	△0.0% △1	—	—
営業利益	677	617	△8.9% △60	82.3%	750

営業利益 増減分析



食品：2021年度 第3四半期 事業別営業利益 増減分析

(億円)	食品 全体	ヨーグルト・ チーズ	ニュートリ ション	チョコレート・ グミ	牛乳	業務用 食品	フーズン・ 調理食品	海外	その他・ 国内子会社
20年度1-3Q 営業利益	677	363	139	80	△8	14	35	12	40
売上増減	△48	△100	+48	+14	△22	+23	△11	+2	△4
原価の変動	△22	△5	△7	△6	+0	+0	△5	△1	+1
経費等の増減	+23	+16	△14	△2	+32	△15	+11	△8	+2
マーケティング費用 等の変動	+31	+12	△9	+8	+22	△14	+8	+2	+2
その他費用の変動 (内、研究開発費)	△8 (△4)	+4	△4	△10	+10	△1	+3	△10	△0
その他 (子会社損益など)	△13	△9	+0	+9	△5	+0	△2	△9	+3
21年度1-3Q 営業利益	617	266	167	95	△2	22	27	△3	42

食品：2021年度 第3四半期 主な事業別概況

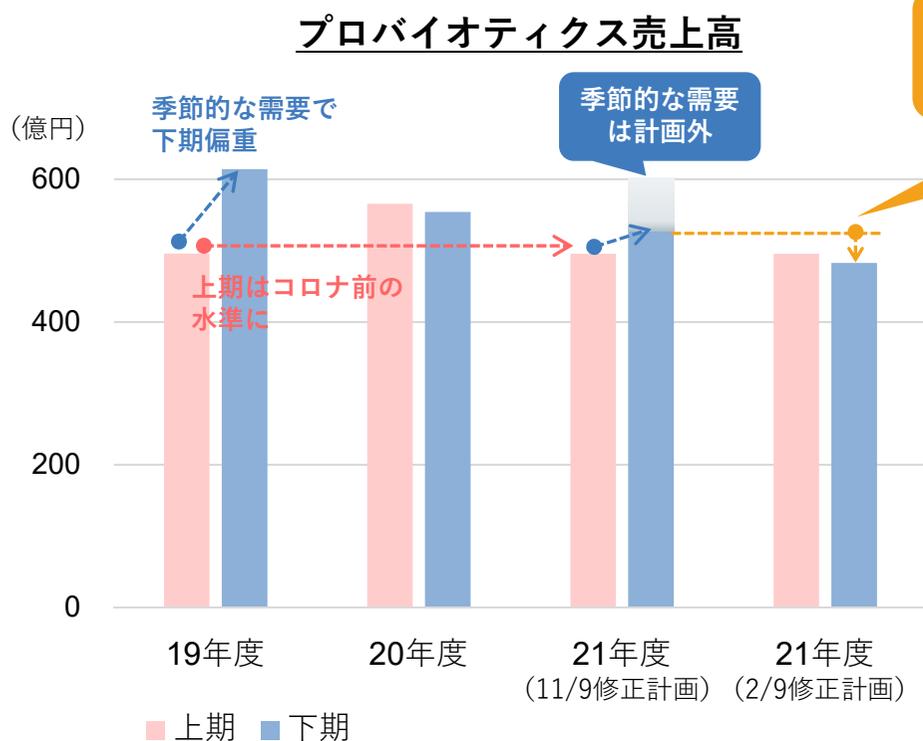
■ ヨーグルト・チーズ

(億円)	21年度	
	1-3Q実績	前年同期比
売上高	1,825	△7.9% △157
営業利益	266	△26.7% △97

売上高 対前期増減率	上期	3Q	3Q累計
プロバイオティクス	△12.4%	△12.0%	△12.3%
ヨーグルト	△4.4%	△0.1%	△3.0%
チーズ	△3.8%	△8.5%	△5.5%

- 市場
 - ヨーグルト：△5～6%
 - チーズ：△1～2% →いずれも前年の反動が影響
- 売上高
 - 前年の反動で上期は減収。下期は前年並みの売上水準への回復を目指してきたが、3Qも低調。競争激化の影響によるプロバイオティクスの苦戦が響く
 - ヨーグルトは、ブルガリアヨーグルトを中心に回復基調。コロナ禍での定番回帰の傾向を受け、プレーンヨーグルトがけん引
 - チーズの減収はプロセスチーズの価格競争激化が主な要因。8月から全国展開したモッツァレラチーズは好調
- 営業利益
 - 減収の影響で大幅減益

食品：プロバイオティクス成長回復への取り組み



コアユーザーは安定して推移
新規ユーザーの取り込みが課題

- R-1
 - 季節に応じた体調管理の重要性を訴求するTVCMを継続投入
 - 店頭での情報発信も強化
- LG21
 - 医師の推奨をアピールした情報発信が新規獲得に一定の効果
 - 「胃の健康」という独自価値を継続して発信



(LG21ブランドサイト)

() は前年同期増減率	3Q	4Q	下期
20年度	275億円 (△1.1%)	279億円 (△17.0%)	554億円 (△9.7%)
21年度【11/9時点】	△5%～前年同期並みを目指す		528億円 (△4.6%)
21年度【2/9時点】	242億円 (△12.0%)	240億円 (△13.8%)	483億円 (△12.9%)

食品：2021年度 第3四半期 主な事業別概況

■ ニュートリション

(億円)	21年度 1-3Q実績		前年同期比
売上高	965		+8.0% +71
営業利益	167		+20.2% +28

- 市場
 - スポーツプロテイン：+17~18%
 - 乳幼児ミルク：△1~2%
 - 流動食：病院・在宅ともに伸長
- 売上高
乳幼児ミルク、スポーツ栄養、流動食の各分野で主力品が伸長
- 営業利益
販促費や減価償却費は増加したが、増収が寄与して大幅増益

■ チョコレート・グミ

(億円)	21年度 1-3Q実績		前年同期比
売上高	858		+3.1% +26
営業利益	95		+18.8% +15

- 市場
 - チョコレート：△1~2%
前年の需要増の反動で板チョコ群は減少
 - グミ：+16%で回復基調
- 売上高
 - 大袋含む健康志向チョコが好調。カカオの価値に関する情報発信を強化し、さらなる売上拡大を目指す
 - グミも回復して大幅増収
- 営業利益
減価償却費は増加したが、増収効果で大幅な増益

食品：2021年度 第3四半期 主な事業別概況

■ 海外

(億円)	21年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	408	+11.8% +43
営業利益	△3	— △15

● 売上高

- 中国は、アイスクリーム事業が大幅増収。牛乳・ヨーグルト事業は競合他社の価格訴求が強まる中、低調に推移
- アジアは、ベトナム子会社の新規連結効果もあり増収
- 米国は、明治ブランドのチョコスナックが増収に寄与

● 営業利益

中国事業を中心とした体制強化のためのコスト増に加え、米国事業の原材料高や物流費増が影響し、海外事業全体では減益

海外事業 トピックス

明治チャイナへの営業機能集約

- 2022年1月より、傘下の各子会社にあった営業機能を中国統括会社・明治チャイナに集約
- 現地でスピーディなマネジメントが可能な体制を整備

中国でのプロバイオティクス販売

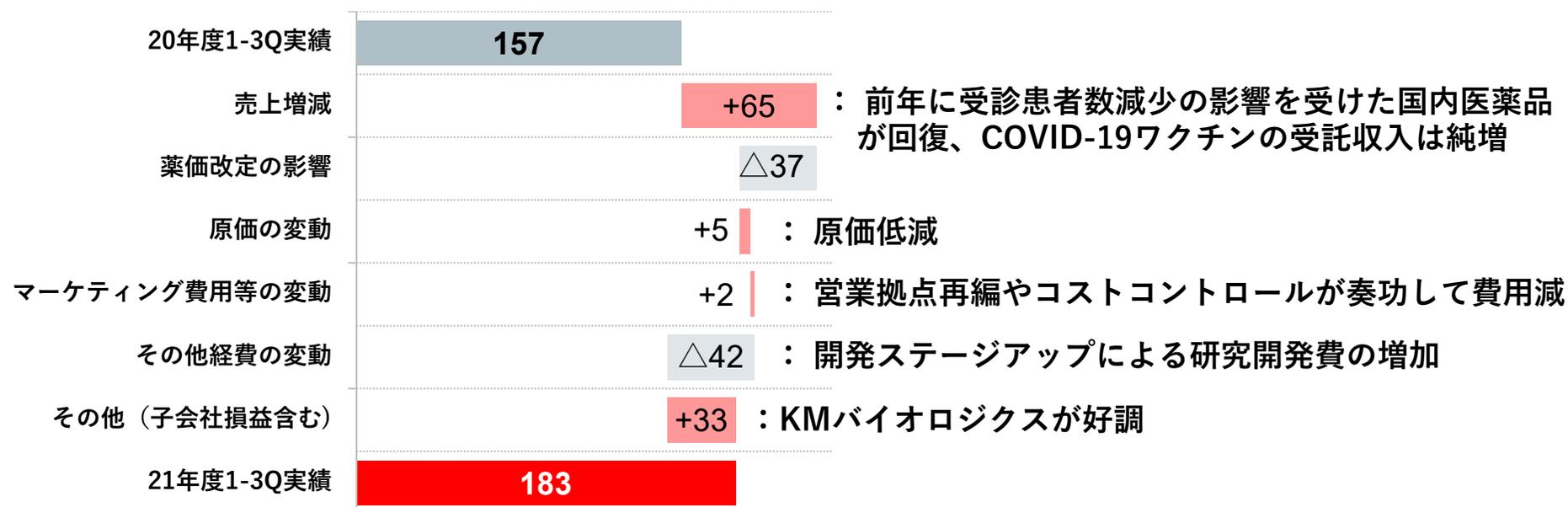
- 2021年4月、上海エリアを中心に「R-1」「LG1」を発売開始
- 商品認知や購入経験は徐々に向上
- 今後の成長のカギとなる各乳酸菌の特長に対する認知向上に注力



医薬品：2021年度 第3四半期 決算概要

(億円)	20年度 1-3Q実績	21年度 1-3Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	21年度 通期計画 (2/9修正)
売上高	1,434	1,444	+0.7% +9	77.3%	1,868
(参考：売上高)	1,340※	1,444	+7.7% +103	—	—
営業利益	157	183	+16.8% +26	—	165

営業利益 増減分析



医薬品：2021年度 第3四半期

主な事業別概況

■ 国内医薬品

(億円)	21年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	717	+7.7% +51
営業利益	31	+33.3% +7

● 市場

医療機関受診患者数が減少した前年と比べると診療科別レセプト件数は大幅増

【20年度累計】小児科△27%、耳鼻咽喉科△22%
【21年4-11月度】小児科+26%、耳鼻咽喉科+14%

(出所) 社会保険診療報酬支払基金

● 売上高

- 抗菌薬は前年反動で増収、「ビラノア」は好調に推移。薬価改定の影響をオフセット
- アストラゼネカ社のCOVID-19ワクチン流通などによる収入も寄与

● 営業利益

期ズレで研究開発費は増加したが、増益

■ 海外医薬品

(億円)	21年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	293	+1.6% +4
営業利益	29	+4.8% +1

● 売上高

- CMO/CDMO事業は好調
- 海外自販事業は減収。前年にCOVID-19の影響で需要増があったスペインの子会社などが上期苦戦した影響が大きいですが、徐々に回復基調

● 営業利益

全体では増収の影響で増益

医薬品：2021年度 第3四半期

主な事業別概況

■ ヒト用ワクチン

(億円)	21年度 1-3Q実績	前年同期比
売上高	396	+8.6% +31
営業利益	130	+17.6% +19

● 売上高

- B型肝炎ワクチン「ビームゲン」は減売だが、インフルエンザワクチンは上期前倒し出荷も奏功して増売
- アストラゼネカ社のCOVID-19ワクチン製剤化による収入も寄与

● 営業利益

増収の影響により増益

医薬品セグメント トピックス

農薬事業の譲渡

- 2022年1月4日、三井化学アグロ社に譲渡完了
- 譲渡価額の修正に伴い、特別利益として約325億円を4Qに計上見込み

COVID-19不活化ワクチン (KD-414)

- 2021年12月、試験検査を行う新棟が竣工
- 今春からの稼働を目指して準備中



2021年度 連結計画

(億円)

	1-3Q 実績		4Q見込 (2/9時点)		通期見込 (2/9時点)		【参考】 通期計画 (11/9時点)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		
連結	売上高	7,699	△14.5% △1,307	2,390	△17.9% △519	10,090	△15.3% △1,827	10,140
	(参考：前年同期比※)	—	+1.4% +105	—	△3.5% △86	—	+0.2% +18	—
	営業利益	790	△5.1% △42	109	△51.9% △118	900	△15.1% △160	1,000
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	561	+13.7% +67	278	+71.2% +115	840	+27.9% +183	900
食品	売上高	6,263	△17.4% △1,320	1,972	△18.2% △439	8,236	△17.6% △1,760	8,270
	(参考：前年同期比※)	—	△0.0% △1	—	△1.4% △28	—	△0.4% △29	—
	営業利益	617	△8.9% △60	132	△32.5% △64	750	△14.2% △124	830
医薬品	売上高	1,444	+0.7% +9	423	△15.6% △78	1,868	△3.5% △68	1,886
	(参考：前年同期比※)	—	+7.7% +103	—	△11.8% △56	—	+2.5% +46	—
	営業利益	183	+16.8% +26	△18	— △52	165	△13.6% △26	185

主力品の売上や原材料コストの動向、ワクチン受託収入の時期ズレなどを反映して修正

2021年度 連結計画

(億円)

	20年度 通期実績	21年度 通期見込 (2/9修正)	前年同期比	21年度 通期計画 (11/9修正)
売上高	11,917	10,090	△15.3% △1,827	10,140
(参考：売上高)	10,071※	10,090	+0.2% +18	10,140
営業利益	1,060	900	△15.1% △160	1,000
営業利益率	8.9%	8.9%	+0.0pt	9.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	656	840	+27.9% +183	900
EPS	452.52円	579.81円	+127.29円	620.22円
1株当たり配当金	160円	160円	—	160円
配当性向	35.4%	27.6% (37.7%)	△7.8pt	25.8% (35.6%)
ROE	11.1%	13.0% (10.0%)	+1.9pt	14.0% (10.5%)
ROIC	10.0%	8.5%	△1.5pt	9.0%
設備投資額	679	1,018	+50.0% +339	1,093
営業CF	1,236	1,250	+1.1% +13	1,287
フリーCF	305	860	+181.3% +554	871

()内は農薬
事業譲渡の影響
を除いた数
値



参考資料

2021年度 第3四半期 連結経営成績

(億円)	21年度 1-3Q実績	前年同期比	主な内容
売上高	7,699	△14.5% △1,307	— (詳細はP1, 2, 8参照)
営業利益	790	△5.1% △42	— (詳細はP1, 2, 8参照)
営業外収益	57	+65.3% +22	・持分法による投資利益 (+25)
営業外費用	26	+14.7% +3	・イベント関連損失 (+3) ・支払補償費 (+3) ・持分法による投資損失 (△2)
経常利益	820	△2.7% △22	—
特別利益	119	+705.3% +104	・補助金収入 (+56) ・投資有価証券売却益 (+18)
特別損失	91	+44.2% +28	・固定資産圧縮損 (+56) ・減損損失 (△15) ・貸倒引当金繰入額 (△10)
税金等調整前純利益	848	+6.8% +53	—
法人税等	233	△9.7% △24	—
非支配株主に 帰属する純利益	53	+25.8% +11	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	561	+13.7% +67	—

2021年度 第3四半期 連結営業利益増減分析

(億円)	連結	食品	医薬品	他
20年度1-3Q実績	832	677	157	△2
売上増減	+17	△48	+65	—
薬価改定の影響	△37	—	△37	—
原価の変動	△17 ※1	△22	+5	—
経費等の増減	△17 ※2	+23	△40	—
その他（子会社損益含む）	+12	△13	+33	△8
21年度1-3Q実績	790	617	183	△10

※1： 主な内訳 【食品】 原材料コスト増△20、その他△2

【医薬品】 原価低減+5

※2： 主な内訳 【食品】 マーケティング費用等の変動+31、製造間接費増△8、その他△0

【医薬品】 マーケティング費用等の変動+2、研究開発費増△38、その他△4

2021年度 第3四半期 連結財政状態

(億円)	21年12月末 実績	前期末比	主な内容
流動資産	4,941	+16.0% +680	・受取手形及び売掛金 (+363) ・現金及び預金 (+226)
固定資産	6,673	+4.1% +264	・建設仮勘定 (+214) ・機械装置及び運搬具 (純額) (+50)
資産合計	11,615	+8.9% +945	—
流動負債	3,097	+22.4% +567	・短期借入金 (+279) ・返金負債 (+189) ・支払手形及び買掛金 (+111) ・契約負債 (+102) ・未払費用 (△155)
固定負債	1,552	+0.4% +6	・社債 (+100) ・退職給付に係る負債 (+11) ・長期借入金 (△110)
負債合計	4,650	+14.1% +574	—
株主資本	6,206	+3.9% +233	・利益剰余金 (+321) ・自己株式 (△107)
その他の包括利益 累計額	357	+48.0% +115	・為替換算調整勘定 (+72) ・その他有価証券評価差額金 (+21)
非支配株主持分	400	+5.5% +20	—
純資産合計	6,964	+5.6% +370	—
有利子負債	1,286	+26.4% +269	・短期借入金 (+279) ・社債 (+100) ・長期借入金 (△110)
自己資本比率	56.5%	△1.7pt	—

2021年度 第3四半期 連結キャッシュフロー

(億円)	21年度 1-3Q実績	前年同期比	主な内容
営業キャッシュフロー	750	+108	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入債務の増加 (+106) ・契約負債の増加 (+102) ・税金等調整前四半期純利益 (+53) ・法人税等の支払額 (△175)
投資キャッシュフロー	△453	+279	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の取得による支出 (+320) ・投資有価証券の売却による収入 (+63) ・補助金の受取額 (+57) ・有形固定資産の取得による支出 (△171)
財務キャッシュフロー	△98	△392	<ul style="list-style-type: none"> ・コマーシャル・ペーパーの減少 (△270) ・自己株式の増加 (△109)
フリーキャッシュフロー	297	+388	—

2021年度 通期 連結営業利益増減分析

(億円)	連結	食品	医薬品	他
20年度通期実績	1,060	874	191	△5
売上増減	△22	△78	+56	—
薬価改定の影響	△48	—	△48	—
原価の変動	△28 ※1	△37	+9	—
経費等の増減	△21 ※2	+16	△37	—
その他（子会社損益含む）	△41	△25	△6	△9
21年度通期計画	900	750	165	△15

※1： 主な内訳 【食品】 原材料コスト増△36、その他△1

【医薬品】 原価低減+9

※2： 主な内訳 【食品】 マーケティング費用等の変動+39、製造間接費増△19、その他△4

【医薬品】 マーケティング費用等の変動△15、研究開発費増△29、その他+7

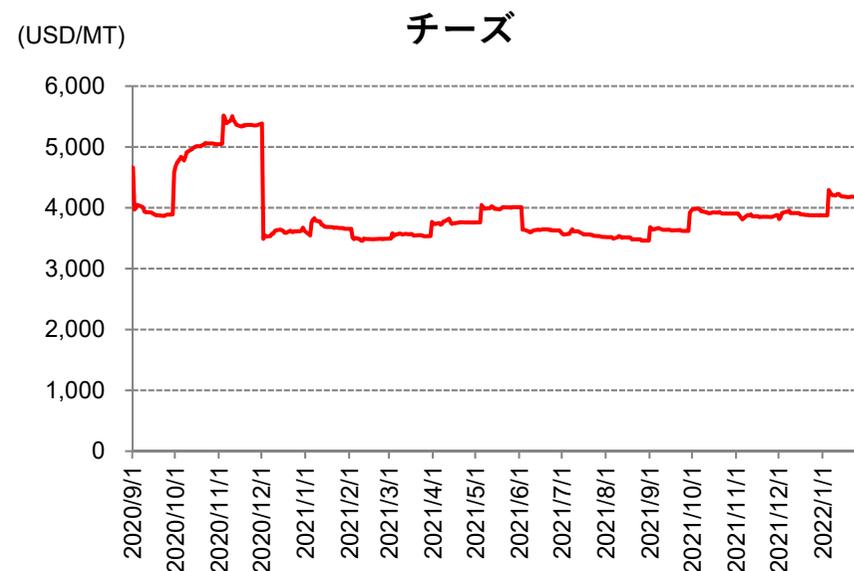
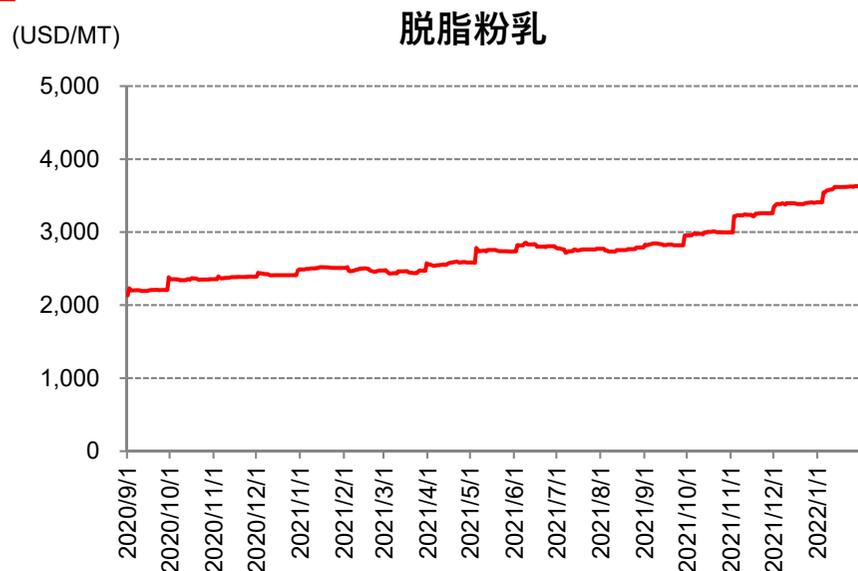
食品：2021年度 通期 事業別営業利益 増減分析

(億円)	食品 全体	ヨーグルト・ チーズ	ニュートリ ション	チョコレート・ グミ	牛乳	業務用 食品	フーズン・ 調理食品	海外	その他・ 国内子会社
20年度通期 営業利益	874	476	177	117	△12	17	36	12	48
売上増減	△78	△135	+53	+17	△30	+29	△12	+2	△3
原価の変動	△37	△9	△13	△9	+0	△1	△6	△1	+0
経費等の増減	+16	+22	△26	△5	+38	△16	+12	△12	+2
マーケティング費用 等の変動	+39	+21	△15	+6	+27	△15	+10	+2	+3
その他費用の変動 (内、研究開発費)	△23 (△3)	+1	△11	△11	+11	△0	+2	△14	△0
その他 (子会社損益など)	△25	△12	+0	+6	△6	△0	△0	△14	+2
21年度通期 営業利益	750	343	191	126	△10	30	30	△11	49

食品：2021年度 第3四半期 主力品の売上動向

(億円)	20年度 1-3Q実績	21年度 1-3Q実績	21年度		21年度 通期計画 (2/9修正)
			前年同期比	通期計画 進捗率	
ヨーグルト	643	624	△3.0%	76.0%	820
プロバイオティクス ヨーグルト	841	738	△12.3%	75.4%	978
市販チーズ	239	225	△5.5%	76.6%	294
チョコレート	692	696	+0.6%	72.1%	966
乳幼児ミルク・流動食	453	490	+8.3%	78.1%	628
スポーツ栄養 (ザバスミルク含む)	310	343	+10.6%	77.4%	444
市販・宅配牛乳	662	593	△10.4%	77.4%	766
市販アイスクリーム	345	330	△4.4%	81.6%	404

主要輸入原料相場の動向



健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。